



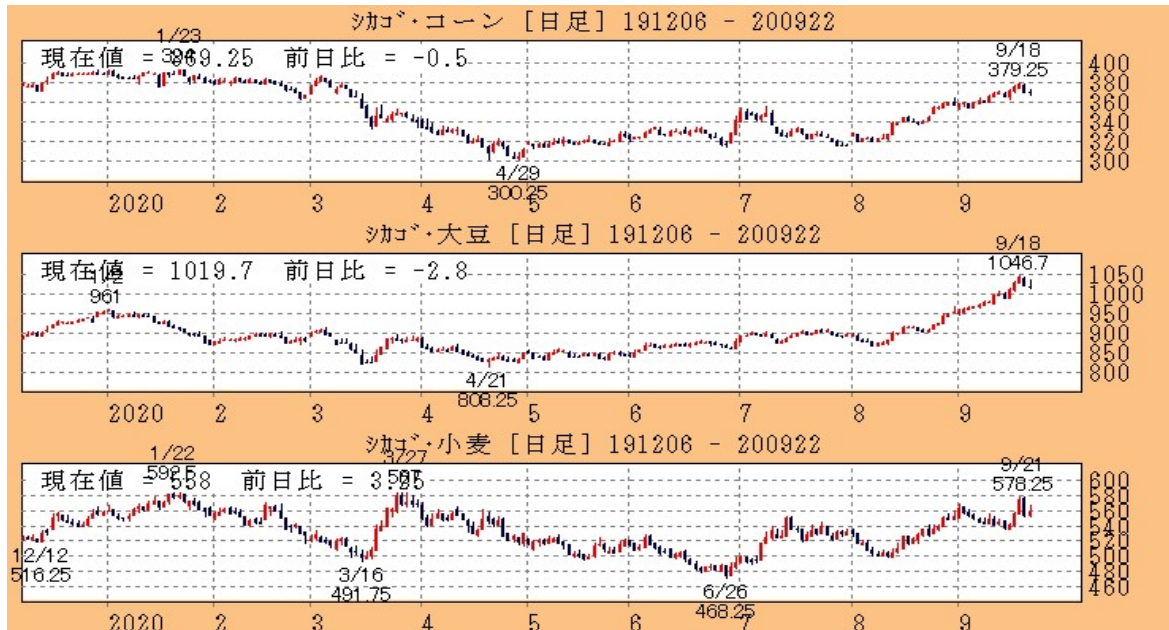
# 週刊穀物



世界の穀物情報がここに凝縮されています。  
毎週水曜日夕方発行

## トウモロコシ、大豆とも反落

2020/9/23

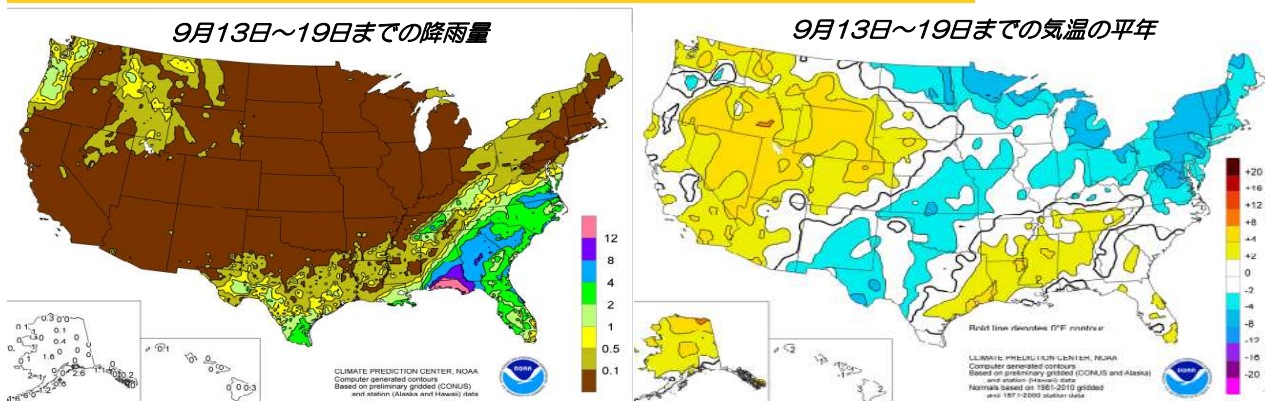


22日のシカゴトウモロコシ12月限は前日比▲0.50セントの369.25セントと小幅続落。取引レンジは365.75セント～373.25セント。前日の取引終了後に米農務省（USDA）が発表した作柄報告で、コーンの作柄が前週よりも1%引き上げられていたことが弱材料視された。また、米産地では晴天が続いていることで、一部で収穫が始まっていることから、ハーベストプレッシャー（収穫期の売り圧力）が強まったことで相場を圧迫した。USDAが大口成約発表をしたことから373.25セントの高値をつけたが、戻り売りが出て上昇はごく短期なものにとどまり、369～371セントのレンジ内でのこう着状態となった。

22日のシカゴ大豆11月限は前日比▲2.75セントの1019.75セントと続落。取引レンジは1013.25セント～1037.00セント。米農務省（USDA）が中国向け等の大口の輸出成約を発表したことを受けて、1037セントの高値まで上昇したが、その後は戻り売りが出て下押しされ、引けにかけて下げ幅を拡大した。先週までの急伸に対して利益確定の売りが先行した模様。

22日のシカゴ小麦12月限は前日比+3.25セントの558.00セントと反発。取引レンジは550.25セント～567.00セント。前日に大きく下落した反動で買い戻し優勢となった。米農務省（USDA）が発表した2021年の冬小麦の作付け進捗率は5年平均を上回ったが、事前予想は下回った。

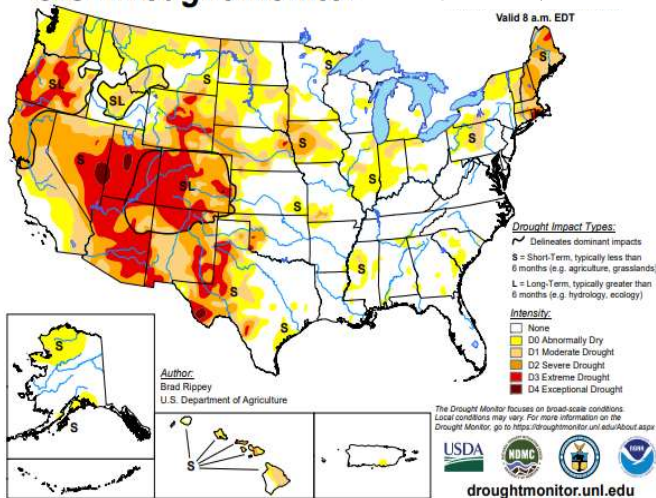
## 米国の天候 by Weekly Weather and Crop Bullitin of USDA



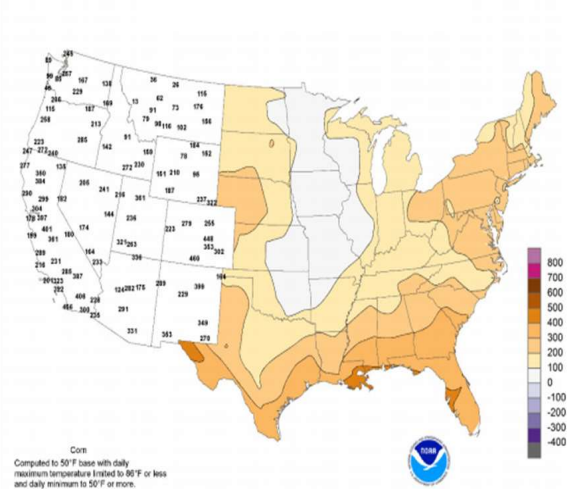


## U.S. Drought Monitor

9月15日の干ばつモニタ



3月1日～9月19日までの



カテゴリー2のハリケーンSallyは9月16日秒速46mの強風を伴ってフロリダ州西からアラバマ州にかけて上陸し、南部アラバマ州に大雨と洪水をもたらし停電があった。南東部に上陸したSallyは急速に勢力が衰え、上記地域以外の被害は軽微だった。南部テキサスと太平洋北西部に降雨があった以外は全米の大半は乾燥した天候となり、夏の作物の収穫には適した天候だった。しかし、米国西部は激しい干ばつに見舞われており、多くの地域で山火事が絶えなかった。中央盆地の気温は平年より高く、逆に中西部から北東部にかけては気温は平年より低かった。ただ、降霜による被害に至るほどの寒さではなかった。

### Crop Progress

トウモロコシ				18州
Dented	前年度	2020年度	過去5年平均	
8月9日	6%	11%	3%	
8月16日	13%	23%	7%	
8月23日	24%	44%	17%	
8月30日	37%	63%	33%	
9月6日	51%	79%	71%	
9月13日	64%	89%	82%	
9月20日	76%	95%	90%	
トウモロコシ				18州
Matured	前年度	2020年度	過去5年平均	
8月23日	2%	5%	3%	
8月30日	5%	12%	7%	
9月6日	10%	25%	19%	
9月13日	16%	41%	32%	
9月20日	26%	59%	49%	
トウモロコシ				18州
Harvested	前年度	2020年度	過去5年平均	
9月13日	3%	5%	5%	
9月20日	6%	8%	10%	

### トウモロコシ

作柄	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent	優と良
5月24日	1%	4%	21%	61%	12%	73%
5月31日	1%	3%	21%	61%	15%	76%
6月7日	1%	3%	21%	60%	15%	75%
6月14日	1%	4%	24%	56%	15%	71%
6月21日	1%	4%	23%	57%	15%	72%
6月28日	1%	4%	22%	57%	16%	73%
7月5日	1%	4%	23%	54%	16%	70%
7月12日	2%	6%	23%	52%	17%	69%
7月19日	2%	6%	23%	52%	17%	69%
7月26日	2%	5%	21%	55%	17%	72%
8月2日	2%	5%	21%	55%	17%	72%
8月9日	2%	6%	21%	53%	18%	71%
8月16日	3%	7%	21%	52%	17%	69%
8月23日	4%	8%	24%	49%	15%	64%
8月30日	5%	9%	24%	48%	14%	62%
9月6日	5%	9%	25%	46%	18%	64%
9月13日	5%	10%	25%	46%	14%	60%
9月20日	5%	9%	25%	47%	14%	61%
前年度	3%	10%	30%	46%	11%	57%

### 大豆

大豆				18州
落葉	前年度	2020年度	過去5年平均	
8月23日	2%	4%	4%	
8月30日	2%	8%	8%	
9月6日	7%	20%	16%	
9月13日	13%	37%	31%	
9月20日	29%	59%	50%	



春小麦			18州
Harvested	前年度	2020年度	過去5年平均
8月2日	2%	5%	10%
8月9日	6%	15%	25%
8月16日	14%	30%	43%
8月23日	32%	49%	62%
8月30日	50%	69%	77%
9月6日	66%	82%	87%
9月13日	75%	92%	92%
9月20日	84%	96%	96%

冬小麦			18州
作付け	前年度	2020年度	過去5年平均
9月6日	1%	5%	3%
9月13日	6%	10%	8%
9月20日	18%	20%	19%

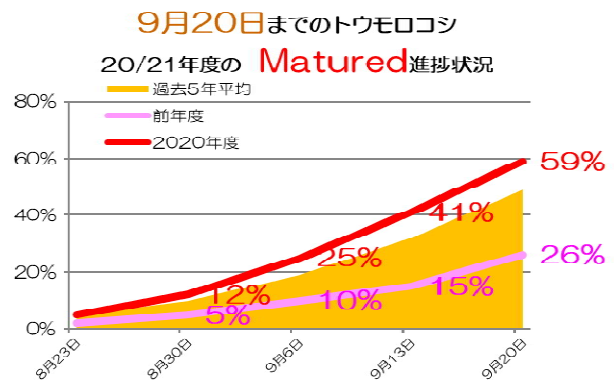
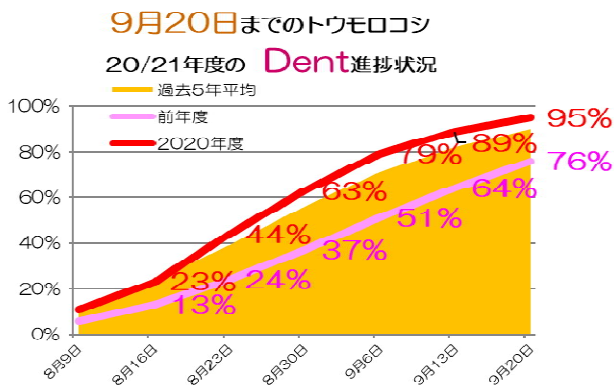
冬小麦			18州
Emerged	前年度	2020年度	過去5年平均
9月20日	2%	3%	2%

大豆						
作柄	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent	優と良
6月21日	1%	4%	24%	60%	12%	72%
6月28日	1%	4%	25%	58%	13%	71%
7月5日	1%	4%	24%	58%	14%	72%
7月12日	2%	5%	24%	57%	14%	71%
7月19日	2%	5%	25%	54%	15%	69%
7月26日	1%	5%	24%	54%	15%	69%
8月2日	1%	5%	22%	57%	15%	72%
8月9日	1%	4%	21%	57%	17%	74%
8月16日	2%	5%	21%	56%	16%	72%
8月23日	2%	6%	23%	55%	14%	69%
8月30日	3%	7%	24%	53%	13%	66%
9月6日	3%	7%	25%	52%	13%	65%
9月13日	3%	8%	26%	50%	13%	63%
9月20日	3%	7%	27%	51%	12%	63%
前年度	3%	10%	33%	45%	9%	54%

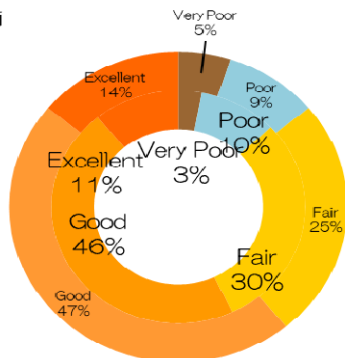
9月20日の米国産トウモロコシのDentが95%（前年は78%、過去5年平均は90%）Maturedは59%（前年は26%、過去5年平均は49%）トウモロコシの作柄は優と良が61%。（前年は57%）トウモロコシの収穫は8%完了（前年は6%、過去5年平均は10%）

大豆は、落葉が59%完了、（前年は29%、過去5年平均は50%）作柄は優と良が63%。（前年は54%）

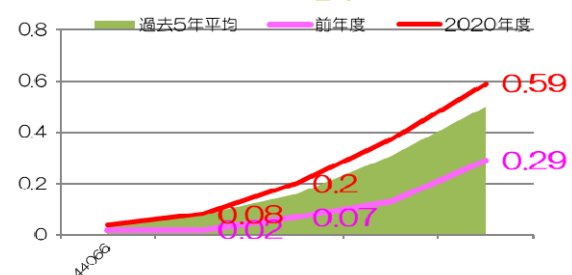
春小麦の収穫は96%完了（前年は84%、過去5年平均は96%）冬小麦の作付けが20%（前年は18%、過去5年平均は19%）冬小麦の開花は3%（前年は2%、過去5年平均は2%）



トウモロコシの作柄  
(9月20日)  
外側は2020年  
内側は2019年



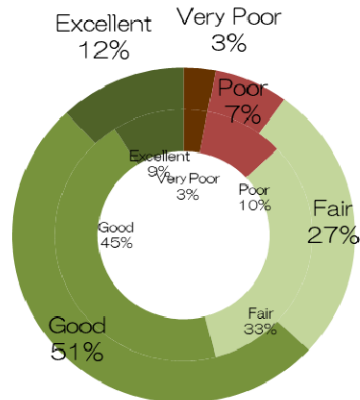
9月20日までの  
20/21年度産大豆の落葉進捗状況



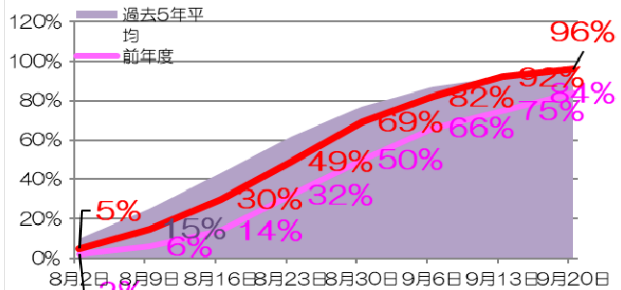




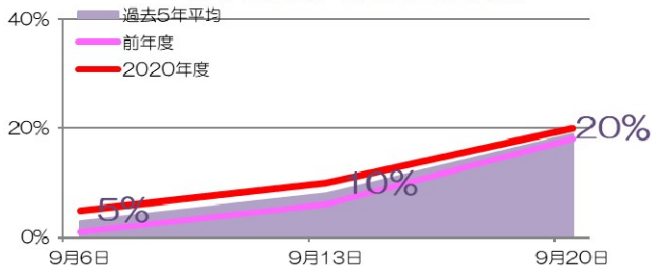
大豆の作柄  
(9月20日)  
外側は2020年  
内側が2019年)



9月20日まで20/21年度米国産  
春小麦の収穫進捗状況



9月20日まで20/21年度米国産  
冬小麦の作付け進捗状況



9月の米国産トウモロコシに対する需給報告

米国産トウモロコシ	16/17年 度	17/18年 度	18/19年 度	19/20年度									
	19年4月	20年4月	20年9月	19年5月	20年7月	20年8月	20年9月	前月比	前月比%	前年比	前年比%	16/17年比	17/18年比
百万エーカー													
作付面積	94.0	90.2	88.9	92.8	89.7	89.7	89.7	+0	+0.0%	+0.8	+0.9%	▲4.3	▲0.5
収穫面積	86.7	82.7	81.3	85.4	81.3	81.3	81.3	+0	+0.0%	+0.0	+0.0%	▲5.4	▲1.4
ブッシェル/エーカー													
単収	174.6	176.6	176.4	176.0	167.4	167.4	167.4	+0	+0.0%	▲9.0	▲5.1%	▲7.2	▲9.2
百万エーカー													
期初在庫	1,737	2,293	2,140	2,095	2,221	2,221	2,221	+0	+0.0%	+81.0	+3.8%	+484	▲72
生産	15,148	14,609	14,340	15,030	13,617	13,617	13,617	+0	+0.0%	▲723.0	▲5.0%	▲1,531	▲992
輸入	57	36	28	35	45	45	45	+0	+0.0%	+17.0	+60.7%	▲12	+9
供給合計	16,942	16,939	16,509	17,160	15,883	15,883	15,883	+0	+0.0%	▲626.0	▲3.8%	▲1,059	▲1,056
飼料その他	5,472	5,304	5,429	5,450	5,600	5,600	5,600	+0	+0.0%	+171.0	+3.1%	+128	+296
食品・種子・工業用	6,883	7,057	6,793	6,950	6,260	6,260	6,265	+5	+0.1%	▲528.0	▲7.8%	▲618	▲792
エタノール等	5,432	5,605	5,378	5,500	4,850	4,850	4,855	+5	+0.1%	▲523.0	▲9.7%	▲577	▲750
国内消費合計	12,356	12,361	12,222	12,400	11,860	11,860	11,865	+5	+0.0%	▲357.0	▲2.9%	▲491	▲496
輸出	2,293	2,438	2,066	2,275	1,775	1,795	1,765	▲30	▲1.7%	▲301.0	▲14.6%	▲528	▲673
需要合計	14,649	14,798	14,288	14,675	13,635	13,655	13,630	▲25	▲0.2%	▲658.0	▲4.6%	▲1,019	▲1,168
期末在庫	2,293	2,140	2,221	2,485	2,248	2,228	2,253	+25	+1.1%	+32.0	+1.4%	▲40	+113
在庫率	15.7%	14.5%	15.5%	16.9%	16.5%	16.3%	16.9%	+0.6%	+3.8%	+0.0	+8.9%	+1.3%	+2.5%

19/20年度旧穀に対する9月の需給報告は、エタノール需要が+500万ブッシェル上方修正される一方、輸出が▲3000万ブッシェル下方修正され、需要が▲2500万ブッシェルの下方修正となった。そのため、期末在庫は+2500万ブッシェル増の22億⑤300万ブッシェルとなり、期末在庫率は16.3%から16.9%に+0.6%上昇した。



## 20/21年度新穀

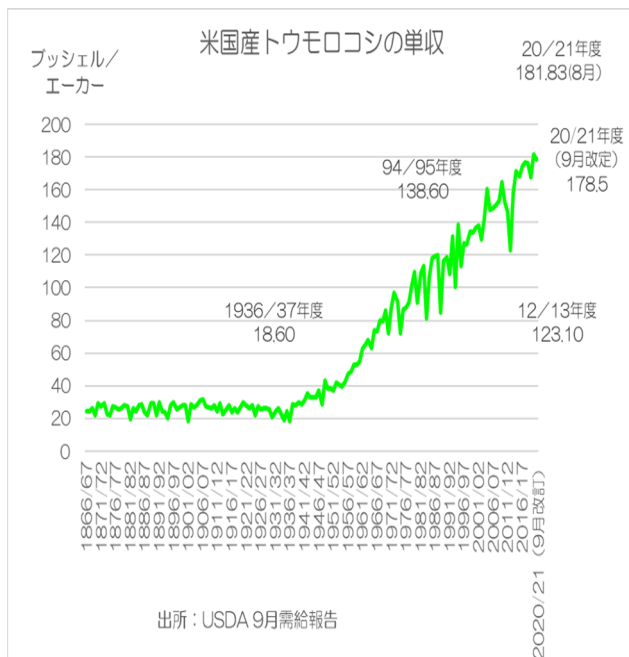
米国産トウモロコシ	17/18年 度	18/19年 度	19/20年 度	20/21年度							
	20年4月	20年9月	20年9月	20年8月	20年9月	前月比	前月比%	前年比	前年比%	17/18 年度比	18/19年度 比
百万エーカー											
作付面積	90.2	88.9	89.7	92.0	92.0	+0.0	+0.0%	+2.3	+2.6%	+1.8	+3.1
収穫面積	82.7	81.3	81.3	84.0	83.5	▲0.5	▲0.6%	+2.2	+2.7%	+0.8	+2.2
ブッシェル/エーカー											
単収	176.6	176.4	167.4	181.8	178.5	▲3.3	▲1.8%	+11.1	+6.6%	+1.9	+2.1
百万エーカー											
期初在庫	2,293	2,140	2,221	2,228	2,253	+25.0	+1.1%	+32	+1.4%	▲40	+113
生産	14,609	14,340	13,617	15,278	14,900	▲378	▲2.5%	+1,283	+9.4%	+291	+560
輸入	36	28	45	25	25	+0	+0.0%	▲20	▲44.4%	▲11	▲3
供給合計	16,939	16,509	15,883	17,531	17,178	▲353	▲2.0%	+1,295	+8.2%	+239	+669
飼料その他	5,304	5,429	5,600	5,925	5,825	▲100	▲1.7%	+225	+4.0%	+521	+396
食品・種子・工業用	7,057	6,793	6,265	6,625	6,525	▲100	▲1.5%	+260	+4.2%	▲532	▲268
エタノール等	5,605	5,378	4,855	5,200	5,100	▲100	▲1.9%	+245	+5.0%	▲505	▲278
国内消費合計	12,361	12,222	11,865	12,550	12,350	▲200	▲1.6%	+485	+4.1%	▲11	+128
輸出	2,438	2,066	1,765	2,225	2,325	+100	+4.5%	+560	+31.7%	▲113	+259
需要合計	14,798	14,288	13,630	14,775	14,675	▲100	▲0.7%	+1,045	+7.7%	▲123	+387
期末在庫	2,140	2,221	2,253	2,756	2,503	▲253	▲9.2%	+250	+11.1%	+363	+282
在庫率	14.5%	15.5%	16.9%	18.7%	17.1%	▲1.6%	▲8.6%	+0.1%	+0.7%	+2.6%	+1.5%

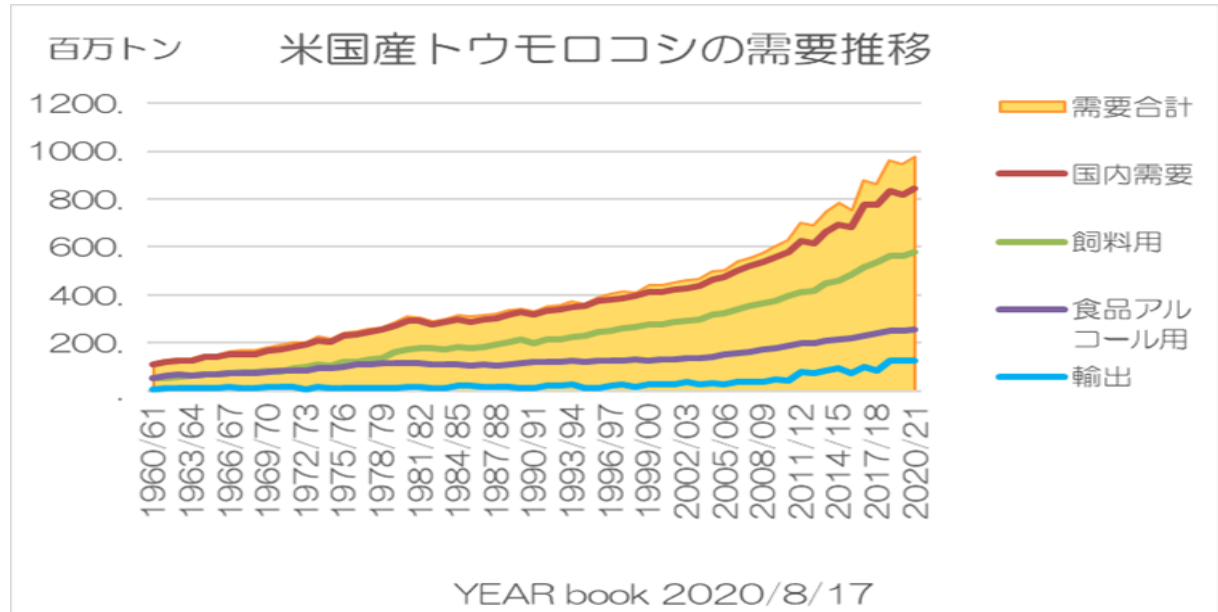
20/21年度新穀に対する9月の需給報告は、収穫面積が8月の8400万エーカーから8,350万エーカーに▲50万エーカー▲0.6%下方修正され、単収が181.8ブッシェル/エーカーから178.5ブッシェル/エーカーの▲3.3ブッシェル/エーカー▲1.8%下方修正された。これは、8月下旬に強風が吹き荒れて、倒壊現象が生じたためと思われる。

そのため、生産量が152億7,800万ブッシェルの予想が149億ブッシェルに▲3億7800万ブッシェル下方修正され、期初在庫の増加+2500万ブッシェルと相殺して、供給は▲3億5300万ブッシェル、▲2.0%下方修正された。

一方需要は、飼料その他が▲1億ブッシェル、エタノールが▲1億ブッシェル下方修正される一方で、輸出は+1億ブッシェル上方修正されて、差し引き▲1億ブッシェルの下方修正となった。

以上から期末在庫は▲2億5300万ブッシェル▲9.2%の大幅な下方修正となり、期末在庫率は18.7%から17.1%に▲1.6%下方修正された。





### 今後の予想

トランプ政権は農民に対して新型コロナ対策第二弾として総額140億ドルの補助金をトウモロコシや大豆、小麦の生産者に対して支給することを決定している。選挙前に、農民票を固める意図が見えている。21日、それまで上げていたシカゴトウモロコシと大豆が大きく下落した。恐らくそれまで買い越していたファンドが手じまい売りを行ったものと思われる。今回はファンドの建玉を掲載しなかったのは、多分買い続けていたファンドが売ったのではないと思われるからである。強風で倒壊騒ぎが起きトウモロコシの単収は減少したが、収穫は順調に行われており、それ程大きな減少にはな

掲載される情報は株式会社コモディティ インテリジェンス（以下「COMMi」という）が信頼できると判断した情報源をもとにCOMMiが作成・表示したのですが、その内容及び情報の正確性、完全性、適時性について、COMMiは保証を行っておらず、また、いかなる責任を持つものでもありません。

本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的財産権はCOMMiに帰属し、事前にCOMMiへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは強く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは強く禁じられています。

COMMiが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本資料に掲載される株式、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。

本資料は、投資された資金がその価値を維持または増大を補償するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客様に何らかの障害が発生した場合でも、COMMiは、理由のいかんを問わず、責任を負いません。

COMMiおよび関連会社とその取締役、役員、従業員は、本資料に掲載されている金融商品について保有している場合があります。

発行所：



COMMODITY  
INTELLIGENCE

株式会社コモディティ インテリジェンス 東京都中央区日本橋蛸殻町1丁目11-3-310  
会社電話：03-3667-6130 会社ファックス 03-3667-3692  
メールアドレス：kondo@commi.cc